

教頭談

教育旅行の感想

大阪府私立高校

生徒談

当校は「修学旅行」ではなく「探検旅行」とし、非日常体験を通じて先人たちの価値を想像し、気づきを得ることを重視しています。阿蘇の牧野ガイドは大阪ではできない体験であり、自然の中で行動するには助け合いも必要だと気づいたと思います。単に自転車に乗るだけではなく、そこから何を学んだか。生徒たちに目的達成を促す意味でも魅力的な企画だと思います。

想像以上にサイクリングは過酷でしたが、壮大な山の上という非日常の環境が、しんどさや急斜面への恐怖心を吹き飛ばしてくれました。

祖父母が熊本に住み、阿蘇山に行ったことはありましたが、サイクリングをしたのは初めて。次は家族で阿蘇をサイクリングしたい。

大阪では絶対にできない経験で、本当に楽しかった。他クラスの友だちと自然と会話する機会もあり、友だちの輪が広がりました。

自転車には全く乗らないのでとても怖かった。ガイドや友だちがいてチャレンジできました。何でも挑戦することは大切だと思います。



道の駅 阿蘇

熊本県阿蘇市黒川1440-1 ☎0967-35-5088
メールでのお問い合わせ ✉denku-k@aso-denku.jp

Aso·Bokuya Guide

通常は
入れない

阿蘇の牧野の魅力を知る! 唯一無二の教育旅行体験 阿蘇^{ぼくや}牧野ガイドプログラム



道の駅 阿蘇

? 牧野とは

阿蘇のシンボリックな景色の一つに山肌を覆う、日本最大級の草原があります。約1.3万年前からススキ属主体の草原が広がっていたと考えられ、「牧野」と呼ばれています。牧野は集落ごとにある牧野組合が維持管理。普段は組合員以外が立ち入ることは認められません。組合員は牧野で牛の放牧や採草をし、自ずと動植物の保護に努めています。

牧野は地域の営みを守る場所であり、大切な地域資源です。ススキ属は自然放置されると長期継続できず、そのため早春の野焼きが欠かせません。阿蘇で連続と続く野焼き・採草・放牧といった営みは、ヒゴシオンやヒゴダイ、オオルリジミなどの多様な動植物の生態系の維持にもつながっています。また、草原の保水力が阿蘇の伏流水を支え、豊かな水資源に深く関わっているのです。阿蘇で千年以上続くとされるこれらの営みこそ先人たちの知恵の証。その価値は世界的にも評価され、ユネスコの「世界農業遺産」(2013年)、「世界ジオパーク」(2014年)に認定されました。



★ 牧野ガイド事業の意義

専門ガイドが阿蘇の牧野を案内する「牧野ガイド事業」は、道の駅阿蘇(NPOP法人ASO田園空間博物館)が2018年12月に始めました。管理された阿蘇の牧野で認可されたガイドが案内し、MTBやトレイルランなどのアクティビティを提供する観光事業です。その背景には過疎化や高齢化による組合員の減少があります。先人から受け継がれてきた野焼きがなくなれば、阿蘇は荒れた原野に帰してしまいます。牧野の価値が失われれば、阿蘇に暮らす人々の生活も変わってしまうのです。

牧野の価値を広く伝え、その魅力を体感して頂くことで牧野の維持につなげたい。「牧野ガイド」は阿蘇の牧野を観光に利用しつつ、「持続可能な牧野の維持保全」を目指しています。



口蹄疫を防ぐため、必ず牧野の入口に消石灰を敷き、参加者に踏ませる

🎓 教育旅行で得られること

- 阿蘇の歴史、自然、生態系を知る
- 牧野と環境への知識が高まる
- 牧野維持と野焼きの関係をj知る
- 持続可能な自然環境保全を学ぶ
- 非日常の体験で感動を得る



ガイドや牧野組合員が阿蘇の牧野を案内



ガイドはケガの対処法などを実践的に学ぶ

牧野ガイド事業は3つのガイド養成講座全てを受講して認定されたガイドが案内します。安全のための規則も徹底しています。これまでに多くの教育機関・学校を受け入れています。教育旅行では阿蘇という雄大な自然を背景に、牧野ライド、ウォーキングなど非日常の体験ができます。そこには単に楽しむだけでなく、阿蘇と牧野について知り、先人たちが遺してきた知恵を阿蘇に暮らす人々が受け継いできたことを学ぶ意義があります。そして参加料金に牧野保全料1,000円が含まれていること、それは体験者も牧野を守る一員であることを意味しています。そして何よりも魅力なのは、地元住民でも「普段は入れない牧野を占有し、体験する教育プログラムは全国でも唯一」であること。牧野に立ち、走り、歩く。そこで目にする自然、耳にする自然界の音、ガイドから聞く話が体感として残ります。学外教育として非常に貴重な体験となるでしょう。



本事業は2021年11月、「スポーツ文化ツーリズムアワード2021」の「スポーツツーリズム賞」を受賞。「体験型プログラムの魅力」「農業遺産やジオパークの活用」「牧野サイクリングの特別感」が評価されました。

📍 阿蘇牧野ガイドプログラム(教育旅行)

これからの社会で必要な、生きる力を学べる教育旅行

「阿蘇牧野ガイドプログラム」は牧野トレイルウォーク・牧野ライド・牧野トレイルランニングを中心にしたプランで、阿蘇の歴史・自然・環境学習・伝統文化体験など、地域の特性を生かした教育旅行プログラムです。阿蘇の牧野を知り尽くした専門ガイドから草原維持の重要性を学びながら、サステイナブルツーリズムが体感できます。これまでに多くの教育機関・学校を受け入れています。

- 魅力**
- 許可がないと入れない牧野に特別に入れる。非日常的な体験。
 - プロガイドと一緒に楽しく学べる「歩く」、「サイクリング」。
 - 壮大な阿蘇、ここでしか体感できない体験。
 - E-Bike利用で誰でも楽に牧野でライドできる。



受入期間 通年 **受入人数** 最大90名
料金 5,000円 ※草原保全費用1,000円含む。

📖 自教育旅行のプログラム内容

牧野ガイドが実施している教育旅行プログラムは、中学生、高校生を対象に「草原トレイルウォーク」「草原ライドプログラム」で構成されています。参加者を2グループに分け、ローテーションでそれぞれのプログラム体験を実施します。それぞれの体験時間は1時間～1.5時間。教育旅行実施日が雨天の場合は代替えプランで対応しています。

《基本的なプログラムの流れ》

- 🚲 牧野ライド**
- 1 MTBのレクチャー (10分程度)**
MTBの乗り方、安全に走行できるよう専門ガイドが説明を行います。また、E bikeの場合は、操作方法の説明を行います。
 - 2 MTB・E bikeの練習 (20分程度)**
レクチャーの後は簡単なコースでならし練習。MTB・E bikeそれぞれのギアチェンジ方法などを確認しながら、安全走行の練習を行います。
 - 3 周遊コースの走行 (30分程度)**
ガイドが決めたルートで走行します。コースは牧野の中が中心です。コースの途中で自転車を止め、阿蘇の自然についてもガイドが説明します。

🌧️ 雨天の日

雨天時には代替えプログラムを実施します。薪割り体験、焚火体験等のキャブ体験に加え、阿蘇の草原の価値やそこで暮らす人々の生活と牧野の関わりなど、ガイドや牧野組合員から聞くことができます。



- 実施場所**
- 現在、牧野ガイド事業に連携しているのは4か所の牧野とスキー場跡地。
- 下荻の草牧野組合: 牧野面積61ha
 - 西小園牧野組合: 牧野面積109.6ha
 - 狩尾南山牧野組合: 牧野面積22.5ha
 - 町古閑牧野組合: 牧野面積429ha
 - 阿蘇人工スキー場跡地: 総面積5ha (2023年中に連携予定)

動画はこちらからご覧いただけます。

- 《スケジュール》**
- 基本** MTBライド、トレッキング、スタンプラリー3種目実施で90分～120分。
 - 雨天時** 近くの施設でチームビルディングゲーム等を実施。